

研究計画・研究資金検討分科会（第24期・第14回）議事要旨

日 時：2019年10月7日（水）15:00～17:00

場 所：日本学術会議6-C(1)会議室

出席者(敬称略)：相澤、大矢根、小澤、亀田、駒井、西條（ビデオ）、丹下、武田、中村、
藤井、古谷（ビデオ）、山崎、渡辺、

欠席者(敬称略)：大山、松尾

1) 前回議事録（案）の承認について

分科会終了時までに修正事項等の申し出はなく、原案通り承認された。

2) 重点大型研究計画の策定

・各委員の利益相反を確認し、問題ないことを確認した。

・「重点大型研究計画策定における審査・評価プロセスについて（2019年7月19日分科会決定）」に従い、各計画の総合評価による平均点、よい点・悪い点に関する評価コメント、分野バランス等を考慮して審議の結果、次の16件を重点大型研究計画（案）として選定することを決定した。

選定された重点大型研究：No. 1, 12, 19, 33, 43, 45, 53, 57, 61, 64, 74, 87, 91, 107, 136, 140

ただし、以下の重点大型研究計画については、分科会としてのコメントを付すこととした。
なお、課題名とコメントは非公開とする。

--

研計 24-16-1

・継続および新規に選定された重点大型研究計画（案）に、各部から一定数以上の計画が含まれていることを確認した（融合領域については、応募時に選択された複数の関連領域を確認した）。

・その他の議論

物理学分野の提案について、提案計画数が多く、分野外の審査委員にとって一部の内容が重複すると映ってしまった計画があったことから、以下の意見を藤井委員長より物理学分科会（物理学委員会委員長）へ伝えることとした。

委員長意見：次回のマスタープランのヒアリングでは、物理学分野から出される全提案計画の中で、各計画の違いや立ち位置がわかるような工夫を検討していただきたい。

・参考情報

MP2020 では、新規 16 件を重点大型研究計画（案）として選定した。そのうち、7 件が大規模学術フロンティア促進事業からの新規提案であった。従って、フロンティア促進事業以外の新規計画は 9 件であった。継続の重点大型研究計画 15 件と合わせ、MP2020 では 31 件の重点大型研究計画（案）を選定した。

3) スケジュール等の確認

提案者へのヒアリング結果の内示は行わず、できるだけ早く提言を発出することとした。

4) その他

・ヒアリングの傍聴者について

内閣府 2 名、文部科学省 6 名、国土交通省 1 名、科学振興機構 2 名、日本学術振興会 5 名、日本医療研究開発機構 3 名。（1 日のみや短時間での参加も含む）

以上